

令和7年9月12日

応用生態工学会第28回大会 優秀口頭発表賞一覧

応用生態工学会

応用生態工学会 第28回大会（新潟大会）の口頭発表（令和7年9月12日）において、下記の発表が優秀口頭発表賞に選ばれました。おめでとうございます。

【最優秀口頭発表賞】

0A2-07 水温の上昇がアユの産卵や遡上に及ぼす影響～水温が上昇すると孵化と遡上が遅くなる～

※瀬口 雄一（株式会社建設技術研究所）、佐藤 大生（株式会社建設技術研究所）、兼頭 淳（株式会社建設技術研究所）

【優秀口頭発表賞】

- 0A1-03 中小河川の河道設定と洪水攪乱による水生生物群集変動との関係性について
※土方 宏治（岐阜大学大学院、大日コンサルタント（株））、原田 守啓（岐阜大学環境社会共生体研究センター）、植村 航平（大日コンサルタント（株））
- 0A1-05 河川水辺の国勢調査の植物調査データを用いた指標種による環境分析の試み
※鈴木 敏弘（（公財）リバーフロント研究所）、都築 隆禎（（公財）リバーフロント研究所）
- 0B1-05 河道掘削工法「額縁掘削」により中小河川に創出された一時的・恒常的水域の底生動物群集
※阿部 穂乃香（兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科）、渡辺 黎也（兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科、倉敷芸術科学大学生命科学部）、片野 泉（奈良女子大学研究院自然科学系）、佐川 志朗（兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科）
- 0B2-03 ダム下流域における濾過食者の生態機能の発揮
※原 直子（奈良女子大学人間文化総合科学研究科）、土居 秀幸（京都大学大学院情報学研究科）、Oh Hye-Ji（奈良女子大学男女共同参画推進機構）、片野 泉（奈良女子大学研究院自然科学系、奈良女子大学共生科学研究センター）
- 0B2-09 ウチダザリガニ侵入防止柵を用いた水草保全対策について
※藤井 和也（（株）福田水文センター、然別湖生物多様性保全協議会）、丸山 まさみ（松籟庵、然別湖生物多様性保全協議会）、鈴木 綾（鹿追町役場商工観光課、然別湖生物多様性保全協議会）

以上

令和7年9月11日

応用生態工学会第28回大会 優秀ポスター発表賞一覧

応用生態工学会

応用生態工学会 第28回大会（新潟大会）のポスター発表（令和7年9月11日）において、下記の発表が優秀ポスター発表賞に選ばれました。おめでとうございます。

【最優秀ポスター発表賞】

PA2-03 ”水際の複雑さ”と複雑さに寄与する要素の影響分析

※大石 銀司（土木研究所自然共生研究センター）、森 照貴（土木研究所自然共生研究センター）

【優秀ポスター発表賞】

PA1-05 大河川中流域を対象とした生息環境評価のためのセンシング手法の検討

※白子 賢太郎（山形大学大学院農学研究科）、渡邊 一哉（山形大学農学部）

PA2-12 Understanding zooplankton community shifts across reservoir-river system using β -diversity metrics

※OH HYEJI（奈良女子大学男女共同参画推進機構）、原 直子（奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科）、Chang Kwang-Hyeon（Department of Environmental Science and Engineering, Kyung Hee University）、片野 泉（奈良女子大学研究院自然科学系、奈良女子大学共生科学研究センター）

PB2-03 陸上の環境DNAを効率的に捕集するKoro-rin法の開発

※垣田 真奈美（株式会社豊田中央研究所）、古田 芳一（株式会社豊田中央研究所）、田中 秀典（株式会社豊田中央研究所）

- PC1-01 九州北部におけるスジシマドジョウ 2 亜種の環境選好および分布予測モデル構築
※永江 栞奈（九州大学大学院）、鬼倉 徳雄（九州大学大学院）
- PC1-02 水生昆虫における遺伝子流動パターンに基づく生息場の連結性評価
※岡本 聖矢（土木研究所）、谷野 宏樹（長野県諏訪湖環境研究センター）、中川 光（土木研究所）、溝口 裕太（土木研究所）、森 照貴（土木研究所）
- PC1-13 サシバの渡り期における飛翔高度の特徴
※兒玉 博之（徳島大学大学院創成科学研究科）、河口 洋一（徳島大学大学院社会産業理工学研究部）、佐藤 雄大（徳島大学大学院社会産業理工学研究部）
- PC2-14 3次元飛翔軌跡データを用いた鳥類の種判別ポテンシャルの検証
※河村 佳世（新潟大学大学院自然科学研究科）、鎌田 泰斗（新潟大学農学部）、関島 恒夫（新潟大学農学部）
- PD1-03 森林の下層植生を面的・広域的に把握するには？ ～UAV 高密度レーザ計測の活用～
※井上 太樹（日本工営（株））、野寄 弘道（日本工営（株））、難波 広樹（日本工営（株））、伊藤 綾（日本工営（株））、森岡 千恵（日本工営（株））、瀬口 栄作（ヤマハ発動機（株））、大塚 修平（ヤマハ発動機（株））
- PD2-05 斜面崩壊リスク低減に向けた草原管理手法とは？～崩壊確率と崩壊規模を考慮したリスク評価～
※浅田 寛喜（熊本大学大学院先端科学研究部）、皆川 朋子（熊本大学大学院先端科学研究部）

以上